



日本語ボランティア養成講座

受講者募集



2020年1月の多摩市の外国人数は約2800人で、年々増えています。日本の生活に馴染むにはやはり日本語の習得が必要になります。TICは5クラスの日本語教室で多くのボランティアが外国人に日本語を教えています。日本語を教えることに興味がある方、教えてみたいと思う方はどうぞお申し込みください。

- ・日時：令和3年1月9日(土)～令和3年3月27日(土)
毎週土曜日 10:00～12:00 *全10回
(但し2月6日と3月20日を除く)
- ・場所：関戸公民館 ヴィータ・コミュニェ 8階 第3学習室
- ・内容：外国人に日本語を教える基礎的知識を学び、実践する講座
- ・講師：恵泉女学園大学名誉教授 秋元 晴美先生 他
- ・費用：12,750円 (教材を含む)
- ・定員：12人 (応募者多数の場合は抽選)
- ・申込：往復はがきの往信欄裏面に・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス
返信欄表にご自分の住所氏名を書き、〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニェ 7階 多摩市国際交流センター宛に
- ・締切：12月19日(土) 消印有効
- ・連絡先：多摩市国際交流センター(TIC) ☎042-355-2118

活動報告

多摩市民文化祭参加イベント

●展示「These Are My Favorite Things」

令和2年10月29日(木)～11月1日(日) ヴィータ 7階 ギャラリー

今年は例年の会員の作品に加え、タイトルの様に長年収集してきた品物や、海外のお気に入りの民芸品などを展示した。台湾や日本の珍しい蝶の標本、長い時間を費やした野鳥の写真、1964年のオリンピック記念切手やたばこの包装紙、また民芸品ではチェコのボヘミアングラス、イタリアのベネチアングラス、中国のペーパーカット(普通は赤だけだが、フルカラーで、とてもきれい)、中国の唐三彩の陶器など美しい品物が展示された。会員からの作品では外国人の書や写真(カナダ)、アクリリックという絵画(アメリカ)、カッパドキアの写真(トルコ)に加え日本人会員の素晴らしい絵画が並べられた。コロナ禍で入場者は160人と例年より少なかったが、このようなイベントをしてくれて嬉しいという声もあった。



●ベトナムの民族舞踊と竹笛の演奏

令和2年10月31日(土) ヴィータ・コミュニェ 7階 市民ロビー

今年の市民ロビーでの外国のパフォーマンスは、ベトナム留学生による民族舞踊。「ズオ ダインド ドゥア」という演舞扇のダンスを4人の女性が披露してくれた。そのあと男性がサオ・チュックという竹笛の演奏を行った。戦争に行った兵士が家族への愛をうたった曲でとてもやさしい、心に染みるメロディだった。最後は6人の留学生による「アオザイ」のファッションショー。ランウエイを歩く様に素敵なショーと、アオザイを着る時の嬉しさ、ベトナム人の誇りを話してくれたのが印象に残った。



